

年 組 名前：

南アで「かきまつり・まいもん朝市」

能登の味5年ぶり満腹感

南アルプス市と石川県穴水町の姉妹都市交流事業「かきまつり・まいもん朝市」が22日、同市徳永のハッピーパークで開かれた。新型コロナウイルス感染拡大や能登半島地震の影響で、通常開催は約5年ぶり。多くの家族連れらでにぎわい、久しぶりの「能登の味」に舌鼓を打った。

〈井村賢紳〉

1994年から実施し、両市町の物産交流事業などを行う「南アルプス市八田能登穴水町交流事業実行委員会（穴水三千広会長）が主催。今回は穴水町で養殖されたカキ1万個が用意され、8個千円で販売したほか、寒ブリ、ホタテなどの海産物や、地酒が並んだ。

会場には購入した海産物を炭火で焼くブースを設け、来場客は新鮮なカキなどを焼いて堪能していた。18年前から年に2回ほど穴水町を訪れるという笛吹市境川町大黒坂の農業相沢寿さん（67）は「穴水のカキは格別においしい。また穴水に行つて応援したい」と笑顔を見せた。

まつりは2020〜22年、新型コロナウイルス禍で開催が見送られ、23年に規模を縮小して実施。昨年2月に通常開催を予定していたが、同年1月の能登半島地震の影響で中止となった。

穴水会長は「久しぶりに開催できてうれしい。30年以上続けてきた交流を末永く継続したい」と話した。穴水町観光物産協会の坂谷吉春会長は「山梨で再び開催するのが楽しみだった。復興は道半ばだが、南アルプス市の人たちに町民の元氣な姿を見せられてよかった」と語った。

姉妹都市は旧八田村に穴水姓が全国で一番多かった縁で1993年に両町村が締結。南アルプス市発足後も関係が続いている。

（2025年2月23日付 山梨日日新聞 16面）

問1

みなみ し がっ にち ひら めい こた
南アルプス市のハッピーパークで、2月22日に開かれたイベント名を教えてください。

.....

問2

イベントでは、なにがはんばい販売されましたか。

.....

問3

みなみ し いしかわけん あなみずまち しまい とし りゆう こた
南アルプス市と石川県穴水町が、姉妹都市になった理由を教えてください。

.....